

# 議会だより

<http://gikai.city.mitoyo.lg.jp/>



📷 山本小学校



山本小学校内部



校訓



## 6月定例会

- ②議会報告会
- ④議案報告
- ⑥審議結果
- ⑦一般質問
- ⑩常任委員会
- ⑬三豊市に住んでみて



ひとりでも多くの方のご意見が聞きたくて…

今回から多くの皆さまから広くご意見をお伺いするために、旧小学校区を基本として市内26カ所で議会報告会を開催いたしました。主に参加者の皆さまの意見交換を主体に行いました。当日回答できなかった質問等もありましたが、議会の方に持ち帰り、所管の委員会ごとに調査をいたしまして「議会だより、議会ホームページ」に掲載させていただきます。

市議会では、議会活性化特別委員会を設置しており、皆さま方のご意見の中から市の問題点を発見してまいります。

今後もより多くの方からご意見をお伺いし、市政への提言として反映していけるよう努力してまいります。

5月22日から6月5日までの14日間、市内各地域で議会報告会を開催しました。  
3月定例会で審議した平成28年度予算を中心に議員から報告を行い、その後、参加者の皆さまからのご質問やご意見を伺いました。

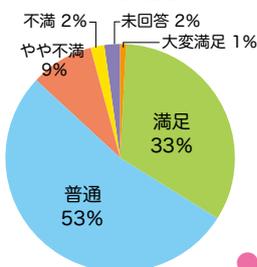
# 議会報告会 市内26カ所で開催

たくさんの方の「声」をありがとうございます

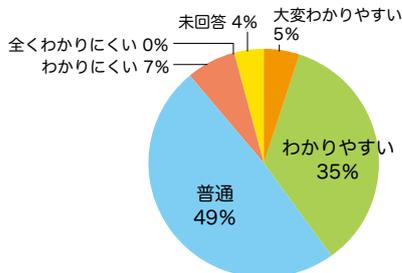
612人参加

## 参加者アンケート結果 544人回答

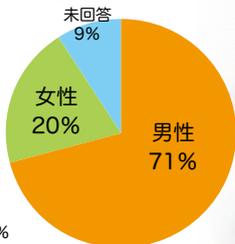
### 全体の満足度



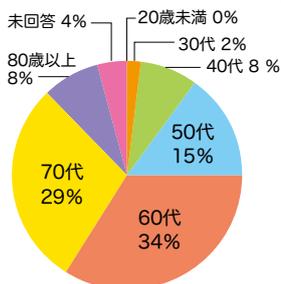
### 内容について



### 性別



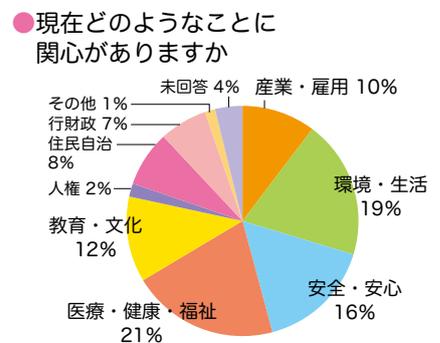
### 年齢



日時、場所、参加者数、出席議員一覧 【全参加者数 612人】

| 町   | 小学校区 | 日時              | 開催場所           | 参加者数 | 出席議員                             | 町   | 小学校区                   | 日時              | 開催場所           | 参加者数 | 出席議員                             |     |    |                 |         |
|-----|------|-----------------|----------------|------|----------------------------------|-----|------------------------|-----------------|----------------|------|----------------------------------|-----|----|-----------------|---------|
| 高瀬町 | 上高瀬  | 5月24日(火) 19:30~ | 上高瀬公民館         | 31   | 香川 努<br>大平 敏弘<br>西山 彰人<br>市川 洋介  | 豊中町 | 桑山                     | 5月23日(月) 19:30~ | 豊中町公民館桑山分館     | 24   | 瀧本 文子<br>詫間 政司<br>浜口 恭行<br>丸戸 研二 |     |    |                 |         |
|     | 勝間   | 5月26日(木) 19:30~ | 勝間公民館          | 19   |                                  |     | 比地大                    | 5月24日(火) 19:30~ | 豊中町公民館比地大分館    | 14   |                                  |     |    |                 |         |
|     | 比地   | 6月1日(火) 19:30~  | 比地二公民館         | 25   |                                  |     | 笠田                     | 5月30日(月) 19:30~ | 豊中町公民館笠田分館     | 15   |                                  |     |    |                 |         |
|     | 二ノ宮  | 5月30日(月) 19:30~ | 二ノ宮公民館         | 15   |                                  |     | 上高野                    | 5月31日(火) 19:30~ | 上高野文化センター      | 25   |                                  |     |    |                 |         |
|     | 麻    | 6月3日(金) 19:30~  | 麻公民館           | 27   |                                  |     | 本山                     | 5月27日(金) 19:30~ | 豊中町公民館本山分館     | 17   |                                  |     |    |                 |         |
| 山本町 | 辻    | 5月31日(火) 19:30~ | 辻公民館           | 17   | 為広 員史<br>近藤 久志<br>金子 辰男<br>込山 文吉 | 詫間町 | 松崎                     | 5月26日(木) 19:00~ | 松崎コミュニティセンター   | 32   | 横山 強<br>三木 秀樹<br>水本 真奈美<br>石井 勢三 |     |    |                 |         |
|     | 河内   | 6月1日(火) 19:30~  | 河内農村婦人の家       | 11   |                                  |     | 詫間                     | 5月28日(土) 19:00~ | マリンウェーブ(2階会議室) | 35   |                                  |     |    |                 |         |
|     | 大野   | 5月30日(月) 19:30~ | 財田大野農業構造改善センター | 38   |                                  |     | 大浜                     | 5月29日(火) 19:00~ | 大浜老人いこいの家      | 17   |                                  |     |    |                 |         |
|     | 神田   | 5月23日(月) 19:30~ | 神田定住促進センター     | 20   |                                  |     | 箱浦                     | 6月2日(木) 19:00~  | 箱浦ビジターハウス      | 26   |                                  |     |    |                 |         |
| 三野町 | 大見   | 6月5日(日) 19:00~  | 大見公民館          | 43   | 宝城 明<br>三宅 静雄<br>鴨田 徹<br>岩田 秀樹   |     | 粟島                     | 5月30日(月) 13:30~ | 粟島開発総合センター     | 12   |                                  | 仁尾町 | 仁尾 | 5月28日(土) 19:00~ | 仁尾町文化会館 |
|     | 下高瀬  | 6月4日(土) 19:00~  | 三野町社会福祉センター    | 16   |                                  | 曾保  | 5月29日(日) 19:00~        | 曾保小学校体育館        | 39             |      |                                  |     |    |                 |         |
|     | 吉津   | 5月22日(日) 19:00~ | 吉津公民館          | 19   |                                  | 財田町 | 財田上                    | 6月2日(木) 19:30~  | 黒川自治会館         | 15   | 為広 員史<br>近藤 久志<br>金子 辰男<br>込山 文吉 |     |    |                 |         |
|     |      |                 |                | 財田中  | 5月26日(木) 19:30~                  |     | 財田B&G海洋センター(ミーティングルーム) | 12              |                |      |                                  |     |    |                 |         |

※正副議長については各会場に手分けして出席し、開会あいさつまたは、閉会あいさつを行いました。



5月22日から6月5日まで26会場で活発な意見交換が行われました。



各会場での質疑につきましては、次回「議会だより」にて報告いたします。

## 平成28年第2回 三豊市議会定例会

平成28年第2回三豊市議会定例会は、6月10日から28日までの19日間の会期で開かれました。

今定例会では平成28年度一般会計補正予算1億2,538万2千円など各会計補正予算2件、専決処分議案4件、条例に関する議案4件、動産の買入れ、工事請負契約の締結、市道の路線変更2件、合計14議案を承認、可決いたしました。その他人事案件2件では、人権擁護委員候補者の推薦について同意しました。

### 平成28年度6月補正予算



|        |                |   |
|--------|----------------|---|
| 一般会計   | 1億2,538万2千円    | 増 |
|        | 総額309億538万2千円  |   |
| 病院事業会計 | 571万8千円        | 増 |
|        | 総額18億3,756万3千円 |   |

### 専決処分

●行政不服審査法及び行政不服審査法の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律の施行に伴う関係条例の一部改正

行政不服審査法及び行政不服審査法の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律の施行に伴う関係条例の整備に、新たに国から準則が示され、28年4月1日までに同条例を改正する必要があるため、地方自治法第179条第1項の規定により専決処分をしたので、同条第3項

の規定により報告をし、議会の承認を求めるもの

●条例等の一部改正、国民健康保険税条例の一部改正

「地方税法の一部を改正する法律」、「地方税法施行の一部を改正する政令」等が28年3月31日に公布され、同年4月1日から施行されたことに伴い、税条例及び国民健康保険税条例を改正する必要が生じ、地方自治法第179条第1項の規定により専決処分をしたので、同条第3項の規定により報告し、議会の承認を求めるもの

●平成27年度病院事業会計補正予算(第2号)

### 条例改正

●ひとり親家庭等医療費支給に関する条例

三豊市および観音寺市の区域内に限って実施していた現物支給による医療費の助成を全県的に実施できるよう改正するとともに、医療費支給制度の優先順位の見直しに伴い、ひとり親家庭等医療費支給制度の対象者を変更するため、条例の一部改正をするもの

●子ども医療費助成に関する条例

子ども医療費助成制度における「子ども」の定義を改めるとともに、重度心身障害者等医療費支給制度およびひとり親家庭等医療費支給制度により助成を受けているものを子ども医療費

助成制度の対象者から除くため、条例の一部改正するもの

●重度心身障害者等医療費支給に関する条例

三豊市および観音寺市の区域内に限って実施していた現物支給による医療費の助成を全県的に実施できるよう改正するとともに、医療費支給制度の優先順位の見直しに伴い、重度心身障害者等医療費支給制度の対象者を変更するため、条例の一部改正をするもの

●病院事業の設置等に関する条例

永康病院が訪問看護ステーションを開設するに当たり、介護保険法により指定を受け、介護サービスを行うため、条例の一部改正をするもの

### その他

●動産の買入れ

市が管理するサーバ、パソコン、周辺機器の老朽化による更新に伴い、関連機器を新規調達するもの



◎工事請負契約の締結

高瀬南部保育所建設工事の工事請負契約を締結するもの

●市道の路線変更

○浜北線

市道浜北線は、三野町大見の県道大見吉津仁尾線に接続している集落内路線であるが、終点を農道竹田1号線まで延長するもの

○仁尾峠3号線

三野町吉津の県道大見吉津仁尾線に接続している路線であるが、終点を三野町吉津字奥谷丙158番31地先に変更するもの

人事案件（敬省略）

■人権擁護委員候補者の推薦

藤川 和子（山本町大野）

細川 芳樹（三野町吉津）

議会運営委員会委員の選任

（就任）香川 努

（28年6月1日付）

（辞任）宝城 明

（28年5月31日付）

（辞任）瀧本 文子

（28年5月31日付）

会派の解散

（28年4月27日付）

みとよ新政会

明政クラブ

会派の結成

（28年4月27日付）

清風会（8人）

会長 香川 努

宝城 明

詫間 政司

浜口 恭行

金子 辰男

瀧本 文子

近藤 久志

三宅 静雄

\*永年勤続表彰\*

全国市議会議長会表彰

※町議会議員歴の1/2を勤続年数に通算

■一般表彰（15年以上在職）

三宅 静雄

香川 努

近藤 久志

議会日誌

4月

20日 民生常任委員会

21日 建設経済常任委員会

26日 四国市議会議長会

28日 議会運営委員会

議会活性化特別委員会

10日 定例会

民生常任委員会

議会活性化特別委員会

14日 議会運営委員会

15日 定例会（一般質問）

16日 議会広報委員会

17日 定例会（一般質問）

20日 総務教育常任委員会

21日 建設経済常任委員会

22日 民生常任委員会

23日 総務教育常任委員会

（現地視察）

24日 議会運営委員会

全員協議会

28日 定例会

全国競艇主催地議会

協議会

5月

6日 広聴会議

10日 民生常任委員会

建設経済常任委員会

全員協議会

広聴会議

12日 瀬戸内海地区議会

競艇連絡協議会

13日 全国自治体病院経営

都市議会協議会

16日 総務教育常任委員会

広聴会議

20日 民生常任委員会

22日～6月5日

議会報告会

23日 全員協議会

24日 議会活性化特別委員会

31日 全国市議会議長会

7月

6日 総務教育常任委員会

（現地視察）

8日 議会広報委員会

11日 三豊総合病院企業団

13日 広聴会議

14日 議会広報委員会

19日 議会運営委員会

建設経済常任委員会

9日 広聴会議

6月

3日 議会運営委員会

7日 議会運営委員会

9日 広聴会議

## 平成28年第2回（6月）定例会

### ■全会一致の議案

| 議案名等  | 議決結果 |
|---|------|
| 専決処分の承認を求めることについて（行政不服審査法及び行政不服審査法の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の一部改正） | 原案承認 |
| 専決処分の承認を求めることについて（税条例等の一部改正）  | 原案承認 |
| 専決処分の承認を求めることについて（平成27年度病院事業会計補正予算（第2号））  | 原案承認 |
| 平成28年度一般会計補正予算（第1号）   | 原案可決 |
| 平成28年度病院事業会計補正予算（第1号）   | 原案可決 |
| ひとり親家庭等医療費支給に関する条例の一部改正について   | 原案可決 |
| 子ども医療費助成に関する条例の一部改正について   | 原案可決 |
| 重度心身障害者等医療費支給に関する条例の一部改正について  | 原案可決 |
| 病院事業の設置等に関する条例の一部改正について   | 原案可決 |
| 動産の買入れについて  | 原案可決 |
| 工事請負契約の締結について   | 原案可決 |
| 市道の路線変更について（浜北線）  | 原案可決 |
| 市道の路線変更について（仁尾峠3号線）   | 原案可決 |
| 人権擁護委員候補者の推薦について（藤川 和子）   | 原案同意 |
| 人権擁護委員候補者の推薦について（細川 芳樹）   | 原案同意 |

※人事案件（敬省略）

### ■賛否が分かれた議案

6月10日から議席が変更しています。

| 議案名等                              | 議員名   |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |      |      |       |      |       |       |      | 議決結果             |
|-----------------------------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------|------|-------|------|-------|-------|------|------------------|
|                                   | 1     | 2     | 3     | 4     | 5     | 6     | 7     | 8     | 9     | 10    | 11    | 12    | 13    | 14    | 15    | 16   | 17   | 18    | 19   | 20    | 21    | 22   |                  |
| 専決処分の承認を求めることについて（国民健康保険税条例の一部改正） | 市川 洋介 | 石井 勢三 | 岩田 秀樹 | 浜口 恭行 | 丸戸 研二 | 水本真奈美 | 込山 文吉 | 西山 彰人 | 三木 秀樹 | 詫間 政司 | 金子 辰男 | 近藤 久志 | 川北 善伴 | 城中 利文 | 大平 敏弘 | 横山 強 | 鴨田 偕 | 為広 員史 | 香川 努 | 三宅 静雄 | 瀧本 文子 | 宝城 明 | 原案承認<br>(賛19、反2) |

※○：賛成 ●：反対 欠：欠席 退：退席 除：除斥

※議長は可否同数の場合のみ表決権があります。（議長 14番 城中 利文）

## タブレットを活用 しています！

平成28年5月から議員所有のタブレット端末を活用して、会議の通知、議会の行事予定、会議の資料などの閲覧ができるようになりました。ペーパーレス議会を目指して今後の更なる活用を調査研究しています。



## 録画映像配信ははじめました！

平成28年6月定例会からすべての本会議、予算・決算特別委員会のライブ中継と録画映像配信をはじめました。

三豊市議会ホームページから、「議会中継」にアクセスすると、視聴できます。（スマートフォンなどからも視聴できます。）



## 込山 文吉 議員

### 中山間地域の人口減少対策について

**問** 人口構成に応じて地域づくりの重点ポイントは異なる。財田町等の中山間地域では、児童数減少対策から小学校跡地に分譲住宅の推進をしてきたが、企業への貸し出しが決定した。どの様な対策を考えているか。

**答** 小学校跡地は、地元地域の総論的な意見や他地域のバランスも考慮して企業に貸し出し、最大の効果を求めていく。中山間地域の人口減少対策は、市全体の大きなテーマとして、検討材料とし保持していく。

### 子育て支援について

**問** 10月からB型肝炎ワクチンの定期接種が開始される。生後1歳までに3回を接種する事になるが、受け入れ態勢は出来ているか。3回目接種が1歳を超えたときの料金を、市の公費で負担できないか。また3歳未満で感染するとキャリア化するリスクが高い。一部負担で接種出来る時限事業としてはどうか。

**答** 3回目の接種スケジュールが厳しい状況である。医療関係機関などから一定期間の経過措置が必要



▲跡地利用が進む財田上小学校

との意見も出されており、最終的な省令公布を待ちたい。3歳未満に対する時限的な措置については、医師会等関係機関との調整も含め、今後の検討課題とする。

**問** 新生児の聴覚スクリーニング検査の負担補助により、新生児100%検査の推進をしてはどうか。

**答** 日本産婦人科医学会から、全国一律の公的支援ということ、その必要性等を提言されている。県からも公費負担、周知等の取り組みについて充実を図るよう依頼が来ている。市としても、県内各自治体と出来る限り足並みをそろえて実施できるように働きかけていく。

### その他の質問

○子育て支援モバイルサービス導入  
○公民館分館の番地未掲載について

## 嶋田 偕 議員

### 男女共同参画について

**問** 28年4月1日に女性活躍推進法が施行されたことを踏まえて、本市の行政事務系の中での女性管理職の登用を果敢に取り組みべきではないのか。市長の考えを伺う。

**答** 今後、女性ならではの視点を施策に生かしていくことは重要だと考えるので、女性が力を発揮できる環境整備を推進するとともに意欲と能力のある女性職員は積極的に管理職への登用をしてまいりたい。

### 移住・定住促進事業について

**問** 都会に住む人たちの中には田舎暮らしに憧れている人たちが多々おられるようだが、この人たちが三豊市へ移住、定住していただくような施策に取り組んでほしい。今後の施策について伺う。

**答** 空き家バンク事業をはじめとし、三豊の暮らしに役立つ情報を発信するなどの施策とともに三豊市の移住・定住対策を進めることで、人口減少に少しでも歯止めをかけ、将来にわたって持続可能な三豊市の創造を目指してまいりたい。

### 雇用促進住宅取得事業について

**問** 高瀬宿舍60戸を当初予算5,937万7千円で雇用促進事業団から譲り受け、市営住宅として活用するようだが、本市の今後の市営住宅施策と計画について伺う。

**答** 高瀬宿舍の取得に伴って三豊市市営住宅ストック総合活用計画また、三豊市市営住宅長寿命化計画の指針により市営住宅の機能更新の基本的な方向性を定めてまいりたい。



▲高瀬町促進住宅

### 図書館再編基本計画策定事業について

**問** 高瀬町図書館は老朽化がひどく耐震化できていないが、三豊市の中央に位置し利便性が高いので改築して三豊市中央図書館にしてはどうか。当局の考えを伺う。

**答** 中央図書館の必要性や位置付けなど図書館運営方針について検討し今後調査研究したい。



▲高瀬町図書館

横山 強 議員

次期ごみ処理業務について

**問** 当初、用地取得の遅延や海外製品の使用による委託料金の増加は、三豊市側に過失責任があるのか。

**答** 当初、エコマスターより財田地区で事業用地の提案があり、その後の地元調整が進まず、現在の山本町神田北立石地区の用地に決定した。用地取得の遅延や海外製品の使用による委託料金の増加に関して、市の過失責任はない。

**問** 当初の協定時と27年度の変更協定時で、市が委託した中小企業診断士が処理委託を診断とした処理料金に多大な開きがあるのは。

**答** どちらの中小企業診断士も県内の著名な方であり第三者である。詳細な事業者ヒアリングも実施した。原協定時の用地、社会情勢では、1トン当たり2万2千円が適切である。

**問** エコマスターに対し委託料金を下げるよう再交渉するべきでは。

**答** 27年8月にごみ処理業務委託料金に関する確認書を締結した。今後国庫補助金が確定し、3億5,247万5千円より多く交付された場合、議員ご指摘のとおり委託料金を下げるよう協議を行う。

**問** 27年度の変更協定により、固形燃料化事業の取り組み、生ごみ肥料化事業中止を、市民に説明義務は。

**答** トンネルコンポスト方式を選定した当初に比べ、社会情勢の変化等により事業費が増加することが基本設計により判明した。委託料金を少しでも抑制するため、市民説明はいろいろな場合でしているが、今後とも継続していきたい。

**問** 事業計画の変更に対する市の責務については。

**答** 事業費の増加の理由は、社会情勢の変化であり、市に責任はない。

**問** 27年度の変更協定を破棄し、正式なごみ処理業務委託契約書の締結を急ぐべきでは。

**答** ごみ処理業務委託契約書案の作成を急ぎたいと考えている。



▲次期ごみ処理施設建設予定地

浜口 恭行 議員

人口減少について

**問** 国勢調査の速報値が出たが、本市全体で人口減少抑制対策に今後どう取り組んでいくのか。また本市のウィークポイントでもある若者の人口流出抑制についてもどう進めていくのか、具体的施策を聞く。

**答** 本市ではこれまでも人口減少対策を最重要課題として取り組んでおり、子どもを安心して産み育てる環境の整備、地元企業との連携や販路の開拓、企業誘致活動など雇用の場の確保に繋がる取り組み、移住・定住施策など人口減少を少しでも抑制する施策を先進的に実施し、一定の成果をあげているものと認識している。しかしながら、このところ他自治体が施策を強化し、本市の先進的施策が平準化されてきた。



そのような中、本市としては若い女性の人口割合が近隣他市に比べ低く、本年度は政策部と健康福祉部が連携し、若い女性の意識調査を行い、結果を分析して、庁内での対策チームやプロジェクトチームを設置しながら、本市ならではの施策として反映できるよう努めていきたい。

スクールロイヤー制度について

**問** 近年、いじめや体罰、学校内での事故や教職員に対する異常なクレーム等が深刻な社会問題となっており、学校や自治体が法的な責任を問われる例も少なくない。

トラブルの未然防止はもちろん、現場の教職員がより充実した学校教育を進めるためにもスクールロイヤー制度（学校をサポートする弁護士）を検討できないか。

**答** 現在、学校現場での法的な対応を実施し、支援に当たっている自治体がある。

今後本市においても、この制度が予算面も含め実現可能なものかどうか、調査研究していきたい。



為 広 員 史 議員

三豊市民の健康寿命について

**問** 健康寿命の改善のためどの様な施策を講じているのか。

**答** 健康寿命にとって大きなマイナスイヤムは脳卒中と認知症・糖尿病である。予防や早期発見のために特定検診や新しい取り組みとして運動習慣のない女性のために簡単運動講座「美・ピラティス」を実施している。

29年度の確定申告の方法について

**問** 28年度の確定申告は、市内3カ所での実施であったために、市民から遠くなり大変不便を感じたとの苦情が寄せられた。改善の余地はあるのか。

**答** 29年の申告相談には、皆さまのご意見やさまざまな条件を総合的に考慮した上で、著しいサービスの低下を招くことなく責任ある相談体制を整える。

山本保育所と幼稚園の建設時期について

**問** 園児の安全対策・経費の削減・保育士の確保などの方向から見ても早急に新設幼稚園・保育所を建設するべきだと思いが時期を聞く。

**答** 山本地域におきましては、大野小学校跡地を基本として次年度で施設建設に関する基本設計を実施していく予定である。今後、所管の委員会や地元の方々の協議も行ないながら整備方針を示していく。

**問** 次年度より基本設計に取り掛かるのでなく、今から協議を始めていただき、9月に基本設計の予算を組んでいただきたい。

**答** 地元のコンセンサスを得ながらスピーディーに対応するということは、補正予算もありだと思いつつ、その辺のことは十分ご承知いただきながら進めていきたい。



▲保育所、幼稚園 予定地

その他の質問

○小学校の跡地利用について

瀧本 文子 議員

瀬戸内国際芸術祭2016について

**問** 地元栗島で秋に開催予定である。その概要を伺う。

**答** 島の廃校を利用し外国芸術家などの作品展示をはじめ漂流郵便局などに加え、「食」をテーマに炊き込みご飯なども提供される。また市内観光の宿泊プランやJR四国との連携をはじめ、地域をあげた取り組みとしてまちづくり推進隊や地元高校生、「海ほたる隊」のボランティアなどと、おもてなしの心を持って、多くの人を迎え入れたい。



▲瀬戸内国際芸術祭ポスターより

生活困窮者自立支援・学習支援について

**問** この制度は貧困から抜け出せず自立できず困っている住民を対象に行政が状況に合わせ支援する制度。実施状況について伺う。また困窮家庭の子どもの学習支援事業についても伺う。

**答** 昨年度、自立相談支援事業、住居確保給付金の支給事業を実施し、46人・77件の相談に対し生活保護申請6人、就労できたケース6人と効果をあげている。また貧困の連鎖防止をめざし、高校受験に向けた困窮家庭の中学生対象に学習支援事業を来年度より実施する予定である。

大規模・豊中幼稚園の状況について

**問** 県下1と言われ園児数280人の大規模豊中幼稚園から、園児数3人の神田・曾保幼稚園まで、市内19幼稚園は規模の格差が非常に大きい。基本方針である「格差の無い集団保育」からほど遠い状況にあるが、対策について伺う。また5歳児の預かり保育室の確保とホールのエアコン設置について伺う。

**答** 幼稚園の望ましい規模は、学級数は80〜120人と考える。大きな差異があるが、地域の歴史もあり等しい環境整備は難しい。また大規模は大勢の児童が集うことから、主体的に人や物に関わる力が育つ一方、課題として、十分な遊び場や用具が確保しにくい、目が行き届きにくい点などがあるが、安全面は加配職員の配置で対応している。エアコン設置は、費用面も含め今後検討したい。

丸戸 研二 議員

健康長寿のまちづくりについて  
(2025年問題への対応)

**問** 10年後に訪れる高齢化率37・4%に向けて、新しい施策が必要ではないか。対策を財政計画に反映させるべきではないか。

**答** 現行諸施策では不足しているのは明らかである。財源も不足している。費用対効果の高い先手の福祉の充実にはさらなる力を注ぎ、強化をしなければならぬ。特別会計の繰出金の財政見直しは、27年度と比較して約6億6千万円の増加が予想されており、29年度の財政計画に反映できる部分は反映していきたい。

働く意志のある高齢者の働く場の確保については、魅力ある働く場の

|                    | 2015年<br>(平成27年) | 2025年<br>(平成37年) |
|--------------------|------------------|------------------|
| 年少人口<br>(0~14歳)    | 7,610            | 6,049            |
| 生産年齢人口<br>(15~64歳) | 35,382           | 30,578           |
| 老年人口<br>(65歳以上)    | 22,337           | 21,894           |
| 合計                 | 65,329           | 58,521           |
| 高齢化率               | 34.2%            | 37.4%            |

▲高齢化率の見直しに関するデータ

創出および求職者と求人企業のマッチング支援等を企業と協働していきたい。

大規模災害に対する備えについて

**問** 自主防災組織の結成状況と今後の目標は。小中学校等における避難訓練などについては、命を守る初動として、震度6強から7に襲われても、まず命を守るための備えが必要ではないか。

**答** 現在の自主防災組織の結成率は64%となっている。30年度を目標に73%にまで拡大したい。

自治会単位の自主防災組織では限界がある。今後、学区単位での大きな枠で自主防災組織の立上げを推進したい。

小中学校等における避難訓練等については、自分の命は自分で守ること、状況に応じて主体的に判断できる力を育成することを重視した防災訓練、教育を実施するとともに、前触れがなくても先生と子どもたちが的確に対応できる訓練にも取り組む。また、地域ぐるみ、市民力を挙げて一人暮らしの高齢者等を支えていくシステムを強化していく。

その他の質問

○子どもの成長とスマホ等の普及およびネット利用について

大平 敏弘 議員

横山市政 市民との情報の共有度は

**問** 合併10年からの、合併特例の優遇措置からの決別を図るべく、28年度施政方針項目6の『ともに考え行動する、自らが創るまち』を呼び掛けていると思われる所の①最少の経費で最大の効果を上げる自治を推進 ②これまでの「量の行革」から「質の行革」に軸足を移し「管理重視の行政運営」から「地域経営型の行政運営」への転換を図るとしているが、それには市民との協働が不可欠。協働の基本原則である市民の皆さまとの情報の共有度は。

**答** 政府も地方政府も、国民、市民の税金により成立していることから、ご指摘のように、最少の経費で最大の効果を上げなければならぬ。合併に伴い市域が大きく広がった本市では、人口と財源縮小する中で、基礎自治体として自治機能、構造の強化を図るため、住民が主役となり、主体的にまちづくりに参加することが不可欠であるとの考えのもと、地域内分権へと大きく舵を切る中で、行政が独占してきた領域を解放し、新しい担い手に委ねる取り組みを進めているところである。また、

同時に、人口や財源の縮小という中、行政内部の合理化についても徹底して進めてきた。今後も、これまでの自助、共助、公助の基本原則のもと、公共サービスイコール行政サービスの時代は終了したとの認識を共有し、市民の皆さまとともに公共サービスのあり方をより進化させた地域経営型の行政運営の確立に向け、自治の成熟度と財政健全化の双方に資するよう質の改革に取り組む。

地域づくりは、そこに住む住民が担うという強い自覚を持って、ボトムアップによる改革を促すことが不可欠。今後とも、地域を担う皆さまとの対話も含め行政の説明責任を果たしつつ、情報共有をより一層図りたい。

ともに考え行動する  
自らが創るまち  
(人権、住民自治、行財政)

▲本年度施政方針 新総合計画基本目標6より

西山 彰人 議員

災害時のごみ処理対策について

**問** 災害時には多くのごみが発生すると思うが三豊市のごみ処理はどうなっているのか。先般、三豊市が委託していたごみ処理業者が、突然契約を破棄し三豊市は大変なことになるところだった。しかし中讃広域が救ってくれて事なきを得た。以前の焼却施設を持たない三豊市としては、災害時のごみ処理が心配ではない。また、被災した他自治体の応援もできない。自前の焼却施設を作るなど、今の方式を見直してはどうか。

**答** また、職員の災害地への派遣計画があるのかについても伺う。

**答** まず、派遣計画については、「三豊市地域防災計画」により県からの要請を受け、早急に出動できる応援体制を準備している。

災害廃棄物処理については、「三豊市災害廃棄物処理計画」を本年度中をめどに策定し、三豊市内で稼働している産業廃棄物処理施設の焼却炉や、市外の処理能力に余裕のある廃棄物処理施設等関係者の皆さまと協議しながら、災害廃棄物処理の相互バックアップ体制を強化したい。

三豊市南部学校給食センターの経過について

**問** 三豊市南部学校給食センターが稼働して3カ月が経った。動き始めは、多くの問題が発生し、解決しながら給食を作っていると思う。業務委託契約書第18条に「委託業務の履行状況について調査し、必要な報告を求める」となっているが労働基準法や労働安全衛生法が守られているのか。また、調理後2時間以内の給食が守られているのか伺う。

**答** 労働基準法や労働安全衛生法の順守については、当該民間会社には、ユニオン労働安全委員会、コンプライアンス委員会等、雇用の労働環境を守る組織が整備されており、法は守られていると理解している。

調理後2時間以内の給食は記録により確認できている。



▲三豊市南部学校給食センター

金子 辰男 議員

防災について

**問** ため池の防災対策および整備状況について伺う。

**答** 市内には、13カ所の大規模ため池があり3カ所で耐震工事を進めている。中小老朽ため池は53カ所の整備計画をし、その内、7カ所の工事を完了している。

**問** 讃岐造船跡地の護岸整備事業の進捗状況を伺う。

**答** 香川県地震・津波対策海岸堤防等整備計画において、特に優先して整備を行う護岸として区分された。30年度での完成予定である。

**問** 山本町、財田町の小学校統廃合後の避難所について。

**答** 新小学校を指定避難所にする。旧小学校も施設が残っている間は、指定避難所として継続する。

コンサルタント会社について

**問** どのような事業で利用しているのか。コンサルタント会社の選定基準はどうか。費用対効果は検証されているのか。コンサルタント会社への考え方を伺う。

**答** 調査・分析業務、各種の試験・検査、工事の設計、施工監理、

情報システムの開発・保守など所管課にて利用している。また、委託契約事務手続きや会計処理は規則に基づき適正に行っている。業務委託はアウトソーシングに関する指針に基づき、経済効果、市民サービス維持向上、住民自治の充実、行政責任の確保、経費の削減などさまざまな角度から検討、判断をしていく。

新しい学校給食の現状について

**問** 食材のチェックの機能は働いているのか。地産地消率は。配送はスムーズか。残菜率はどうか。

**答** 職員が立ち合い、物資の状況を検査確認している。地産地消率は40・6%である。調理後2時間以内に給食できるよう配送している。給食調理の環境の変化で残菜率が増えないように努める。



▲新しい配送車

水本 真奈美 議員

防災減災対策について

**問** 熊本大地震から教訓として備えるべき点①土砂災害の対応②防災拠点、医療機関の連携③指揮系統の体制④住宅の耐震化、家具転倒防止の推進⑤エコノミークラス症候群への対応⑥罹災証明書を発行する被災者支援システムの構築状況について伺う。

**答** ①警戒避難体制の整備、既存住宅の移転促進等ソフト対策とともに緊急指定輸送道路の整備などハード対策も推進する。②本庁と各支所を防災拠点と位置付け、三野、詫間、財田支所は再配置計画の中で早急に検討する。医療機関の連携は西讃地域災害医療対策会議を開催し情報収集伝達訓練を行っている。③職員不足等で対応不能の場合も想定し、自治会や、自主防災組織、消防団ならびにボランティアとの協力を体制を具体的に検討し、指揮系統が効果的に機能するよう多様な想定の中で訓練を行う。④27年度までの家屋の耐震化実績は診断12件、改修工事25件であった。家具転倒防止も普及率が低いことから種々の活動の場で一層の啓発普及活動に取り組む。⑤

保健師等が病気や感染症対策のチラシを配布する体制になっている。⑥被災者支援システムは常時稼働運用をめざし、必要なシステムを入力中である。稼働・検証が終了後、その運用や研修については計画の中で進めていく。



▲熊本地震の被害の様子

公会計改革について

**問** 国から29年度までに整備するよう要請されている新公会計の①目的と課題②固定資産台帳の整備状況③新公会計の活用と効果について伺う。

**答** ①目的は財務会計の透明性の向上で課題は複式簿記の導入、固定資産台帳の整備、比較可能性の確保を推進することである。②28年度末には各資産台帳のデータを一元的にまとめる予定である。③正確なコスト分析により事業評価に活用するとともに、市民に財政状況と資産老朽化率等の情報を開示し、財政の可視化が図られるものと考えている。

詫間 政司 議員

空き家等対策について

**問** 「空き家等対策の推進に関する特別措置法」が施行された。本年度の取り組みにおいて、対策計画の策定および実施に向けての協議会の設置と組織、空き家条例の制定の予定について、具体的にどのような施策展開をするのかを問う。

**答** 早急に関係課で構成する対策取り組み検討委員会を設置し、具体的な方針を策定するとともに、施策の実施に必要な空き家条例や補助金交付要綱の制定に取り組む。29年度に協議会を設置し、空き家等の実態調査を行い、空き家等対策計画を策定の予定だ。しかし、近隣自治体が先行して実績を上げており、年度区切りで考えずにスピードアップして取り組み結果を出したい。

マスタープランの都市計画と農業振興地域の整合性について

**問** 都市計画法と農業振興法の役割は、現下の社会情勢においても有効に機能しているのか。地形図および都市計画図と農業振興地域図を重ね合わせた、将来都市構想図は作成できないか。また、都市計画と農

業振興の縦割り行政の解消運動への取り組みの考えを問う。

**答** 農業振興地域からの除外は、県等に改善要望をしたが進んでいない。3図そのままを重ねたものを今後作成したい。古い硬直化した法律を改めるべく、議会と一緒に国と戦っていく。



▲将来都市構造図

預かり保育の充実について

**問** 幼稚園の預かり保育の、保育のみにとどまらない、子育て支援と幼児教育の両面からの政策効果と視野に入れた充実の考えを問う。

**答** 預かり保育は保育者の資格を求められていない。昔のように子どもたちが、家庭や地域の中で育つような環境になるよう努める。

岩田 秀樹 議員

住宅リフォーム助成制度の継続について

**問** 本年度で3年目を迎えた住宅リフォーム助成制度は、住民の皆さんの評判もよく利用されている。

全国1,788自治体のうち5県約600自治体で実施され一般的な施策となっている。この制度が広がっているのは、大企業誘致一辺倒ではなく、地域に目を向けた循環型経済への転換だからである。

「住宅関連の消費喚起で地域経済の活性化と定住促進や市民の住環境の向上を図る」ことを目的に、市内施工業者を活用してのリフォームを支援するもので地域経済への波及効果が表れ、地元の中業者や住民にも喜ばれている。

家計消費は消費税を5%から8%増税から2年たった今でも、冷え込んだままである。GDP(国内総生産)の統計を見ても、実質個人消費は増税前に比べて低くだけでなく、安倍政権発足直前をも下回っている。経済の6割を占める個人消費が冷え込んだままであるから、GDPも低迷している。日銀がいくら資金を供給しても、実体経済は活性化しません。

このような経済情勢だからこそ地域循環型の「住宅リフォーム助成制度」が求められている。

一般住宅リフォーム、地域活性化事業補助金の利用状況は。(3年間の見込みで)

|      |            |
|------|------------|
| 利用者数 | 897件       |
| 補助金  | 1億5,628万円  |
| 事業者数 | 175事業者     |
| 事業費  | 14億6,000万円 |

その他の質問

○子どもの国保均等割軽減制度の創設を

○公共施設に設置されているAEDの作動確認を

○ホームページで必要な情報が早く提供できる組み立てを

**答** 経済活性化施策としての住宅リフォーム事業は終了するが、3年間の事業実施により、事業目的である市民の生活環境の向上と市内業者の受注機会の増大など、一定の地域経済の活性化をもたらした。

住宅リフォーム助成制度だけでなく、さまざまな事業を行っている。その中で十分中小企業の方にも循環できるような施策を考えていきたい。

三木 秀樹 議員

臨時職員の処遇を同一労働・同一賃金へと均等待遇する時期ではないか

**問** 市で働く臨時職員は、全体の55%を占め、同職員らの働きなくして行政サービスが成り立たないほどの大戦力だ。政府が主張する「非正規職員の同一労働、同一賃金の実現」を先取りして改善してはどうか。

**答** 指摘の通り、政府は正規と非正規の賃金差を欧州諸国と遜色のない水準を目指すとしているが、正規職員同様、臨時職員の賃金も地方法等に基づき決定している。

**問** 政府策は、国内で正規の60%状態の非正規賃金を、欧米並みの80%に引き上げる案だ。市の正規職員と同一労働である臨時職員の賃金は、正規の43%しかない。せめて世間並みの60%まで引き上げてはどうか。

**答** 国からのガイドラインを待って、それを精査し、検討する。

四国でもおとなの医療センターへのコミュニティバス乗り入れの進捗は

**問** 普通寺市へのバス運行を前向きに検討していると思うが進捗状況は。

**答** 普通寺市内へ通学している生徒も多く、普通寺駅までの試行運転を検討している。今後、関係機関と調整等を行い、市議会にも諮り来年度から走らせたい計画でいる。



▲コミュニティバス

TPPに対応する人づくりに1億円基金を使うことについて改めて聞く

**問** 3月議会で、答弁「基金は、TPPに対応する人材育成に」は、「それでは出来ないでしょう」と私は再三発言した。TPPのどの分野に対応するための人づくりか進捗状況を聞く。

**答** 農業全般の底上げしていく施策に基金を使う。農業者・組織の力、体力をつけ、国内の国際力競争にも負けないようにするのが目的だ。

**問** その発言は3月になかったが、前任との引継ぎは農業全般の引き上げの基金と認識している。

**答** 3月の代表質問の答弁と違う。次の議会で再度問う。

その他の質問

○地方分権に逆流か

## 総務教育常任委員会

6月20日開催の総務教育常任委員会には、3議案が付託され審査した。

### 主な質疑と答弁

#### 28年度一般会計補正予算関係部分 がんばる地域応援事業について

**問** この事業を七つのまちづくり推進隊に伝授する、とあるが、具体的にどういう手法をとるのか。

**答** 事業主体として予定している特定非営利活動法人子育て応援NPOフレンズおよび特定非営利活動法人働く女性研究会の2団体は、専門的なノウハウを持っており、これらがまちづくり推進隊と連携して、共同開催というかたちで講演、講義等を開催するなかで、地方創生に向けてのノウハウを学んでいただく流れを考えている。

**問** その2団体は、どこを拠点としているのか。また、この事業効果を検証する基準は定めているのか。

**答** フレンズは観音寺市、女性研究会は丸亀市を活動の拠点としている。事業効果の検証については、単年度のみの実施でその成果を見出すことは難しいかも知れないが、次年度の活動の中に新たな事業が生まれてくることを期待したい。

#### 動産の買い入れについて

**問** 入札率が99・13%とのことだが、その基となる設計金額は公表したのか。また、その設計金額はどういう算定によるものなのか。

**答** 入札にあたり設計金額の公開はしていない。また、入札のための仕様書作成は、各担当の見積もりを田園都市推進課の専門職員が精査し積み上げたものに、設計率を乗じた金額を設計金額とし一般競争札に付した。



▲6年ごとに更新されている子どもたちのパソコン

**問** 入札の経緯はどうだったのか。また、資料中に、「耐用年数5年を経過した各サーバーの更新」とあるが、5年を経過したら更新しなければならぬという規定はあるのか。

**答** 今回の入札には、2社が応札し、1回目の入札では落札せず、2回目

の入札において50万円の差での落札となった。また、サーバーについては、メーカーの保守期間が5年となっており、それに合わせて更新を行っている。

**問** パソコンの耐用年数は何年なのか。また、財田小学校のノートパソコンを20台更新することだが、現在、耐用年数が過ぎたものを暫定的に使用しているのか、それとも間もなく耐用年数が切れるので、それまでに更新しようとしているのか。山本小学校についてはどうか。

**答** パソコンの耐用年数は、法令等で定められたものはない。1日8時間、約5年もつとされているが、有寿命化の部品は、メーカーに6年間の保持義務があり、この6年間に合わせ更新している。財田小学校の20台については、22年に導入したもので、更新時期をむかえた。山本小学校については23年以降に導入しており更新期が来れば買い替える。以上、各議案とも慎重な審査により原案どおり可決した。



## 建設経済常任委員会

6月21日開催の建設経済常任委員会には、3議案が付託され審査した。

### 主な質疑と答弁

#### 28年度一般会計補正予算関係部分

**問** 道路橋りょう費で土地購入をするが地目は何か。

**答** 雑種地である。

**問** 農業振興費で香川県農協にコメの色彩選別機導入の補助とあるが、どの支店か。

**答** コメの色彩選別機は豊中支店である。

**問** 農事組合法人の解散により補助金の返還が生じているが、その経緯は。

**答** この農事組合法人は当初8人で法人を設立したが、高齢により作業ができなくなったため解散する。耐用年数17年ほどの格納庫があったため、補助金の返還になる。

#### 市道の路線変更について (仁尾峠3号線)

**問** 市道の路線変更、三野町仁尾峠3号線については、北部火葬場建設のためと思うが、どこが担当し、どのようになるのか。

**答** 火葬場の担当課は環境衛生課であり、用途廃止する市道部分は、火

## 民生常任委員会

6月10日および22日開催の民生常任委員会には10議案が付託され審査した。

### 主な質疑と答弁

#### 28年度一般会計補正予算関係部分

**問** 豊中町の認可外保育所閉鎖後、補助金を交付して建設する保育所について、待機児童は解消できるのか。

**答** 観音寺市の社会福祉法人が民設民営の認可保育所として建設する。0歳児から5歳児が対象で



▲市内の保育所の様子

定員は60人から70人程度である。市の条例に基づいた保育料で原則三豊市内の子どもを預かる。豊中地区に関して豊中保育所は0歳児から2歳児対象で現状は定員満杯状態である。3歳児から5歳児までの大半が豊中幼稚園に行つて預かり保育を利用している。中には保育所を利用したいという方がおり、町外の公立保育所を選択している。待機児童については現在、希望する保育所に入所できない幼児が市内で38人いる。今後年

度途中で育休明けの0歳児が入所希望すると思われ、公立保育所への入所が困難な状況が予想できる。

**問** 母子福祉扶助費の高専職業訓練促進給付金の制度改正について。

**答** 准看護師、正看護師や保育士の資格取得には2年以上の就学が大半である。今までは2年が上限であったが、例えば正看護師を目指して3年就学する方が3年目は給付の対象外という制度であったが、今年から3年間対象となる改正である。

**問** 地球温暖化対策推進法に基づく地方公共団体カーボン・マネージメント強化事業についての調査、分析業務委託料で1千万円の補正をしているが、どのコンサルタントに委託したのか。

**答** まだ交付決定がでていない。決定後、コンサルタントに委託する予定である。

#### 28年度病院事業会計補正予算

**問** 永康病院の訪問看護ステーション開設に伴う補正か。

**答** 一般会計からの繰り入れは栗島への訪問看護に係るものである。

#### ひとり親家庭等医療費支給に関する条例の一部改正

#### 子ども医療費助成に関する条例の一部改正

#### 重度心身障害者等医療費支給に関する条例の一部改正

**問** 条例改正で、医療費が申請主義から現物支給に変わるといふことか。

**答** ひとり親家庭と重度心身障害者について三豊・観音寺市の区域内に限って実施していた医療費現物支給を条例改正により、県下の病院の窓口での現物支給が可能となる。

#### 病院事業の設置に関する条例の一部改正

**問** 永康病院が訪問看護ステーションを開設するための条例改正か。

**答** もともと西香川病院に限定した条例であったが、今回、永康病院が介護保険法に基づく退院後の在宅復帰支援サービスを行うための条例改正である。

以上、各議案とも慎重な審査により原案通り可決した。



▲永康病院

葬場の一部として利用するが、建物は立てない。

なお、審査の前に市道の路線変更について現地視察を行った。

以上、各議案とも慎重な審査により原案のとおり可決した。



▲浜北線



▲仁尾峠3号線（北部火葬場予定地）

# 三豊市に住んでみて

## この小さな街で

仁尾町 宮武 杏美さん

私は、結婚を機に愛媛から仁尾町に引っ越してきて丸3年が経ちました。主人は山本町出身ですが、もともと仁尾町でオリブを育てる仕事をしており、大好きなこの街に住むことに憧れていたそうです。

そんな主人と出会って間もない頃、彼が一番好きな場所があると見せてくれたのが、七宝山トンネルを抜けた先に広がる瀬戸内の穏やか海の景色でした。まるで湖のようなべた凧に、春の柔らかな光が反射してキラキラしている様子は今まで見てきたどの海よりもロマンティックで美しく、私もこんな景色を毎日眺めながら暮らしてみたいなあ、もっとこの街の素敵な景色や人に出会ってみたいなあ、とこれからの生活に思いを

馳せながらわくわくしたことを今でも鮮明に覚えています。

あれから月日は流れ、先日、私たちにも新しい家族が増えました。娘には、自分の育った小さな街に誇りを持ち、そこから大きな夢を持ってほしいと願いを込めて「小街（こまち）」と名付けました。まだまだ可能性を秘めているこの小さな街で、これから家族3人で新しい生活が始まります。



## 古い納屋を活用して農業の再開



高瀬町 白井 美和さん

俗な表現で「月給とり」になり高瀬を離れてしまいましたが、定年後も続ける気持ちになかったです。そして、ずっと気になっていたのが、築後百年を超えて、なお頑健な古い納屋でした。そこで、これを生き返らせるべく、代々守ってきた農地を利用して農業を再開することにしました。同時に幽霊屋敷みたい、ばかどかい母屋を解体し、マッチ箱みたいな家を構え根城にすることにしました。同世代で顔見知りの方々も多くいて、落ち着いて仕事をやっていけるので、よかったなあ

と思います。と同時にもしこのような状況がなかったらと思うとぞっとします。高瀬を離れている間に高速度道路ができ、高瀬駅前通りも見違えるように整備されて、便利になったと思います。一方で、この地に住み続ける根底には、どこにも運ぶことができない農地の存在があることを改めて感じています。



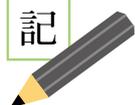
## 編集後記

暑さの厳しい季節となりました。今月号は、6月定例会の審議結果、一般質問を中心に、市内26カ所で開催しました議会報告会、録画映像配信、タブレット活用など、新しく始まった議会改革の取り組みをお知らせしています。

議会報告会は612人のたくさんの市民の皆さまの参加があり、さまざまなご意見を聞くことができました。「議会だより」も市民の皆さまが身近に感じて愛読していただけるような紙面づくりを目指して委員一同取り組んでまいります。

## 議会広報委員会

|      |       |
|------|-------|
| 委員長  | 込山 文吉 |
| 副委員長 | 市川 洋介 |
| 委員   | 為広 員史 |
|      | 大平 敏弘 |
|      | 金子 辰男 |
|      | 詫間 政司 |
|      | 岩田 秀樹 |



この広報紙は、古紙配合率70%再生紙、また、環境に優しい植物油インクを使用しています。

市制10周年につき、三豊市市制施行10周年記念シンボルマークを表紙に、掲載しています。